

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 29 日 (2021.7.29)

【公開番号】特開 2020-10897 (P2020-10897A)
 【公開日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-003
 【出願番号】特願 2018-136183 (P2018-136183)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 18 日 (2021.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

ストップスイッチの有利な操作態様を報知しない通常区間と、

ストップスイッチの有利な操作態様を報知し得る有利区間と

を有し、

有利区間であるときに点灯し得る有利区間ランプと、

所定の記憶手段と

を備え、

所定の記憶手段に消灯を示す情報が記憶されている場合には、有利区間ランプを点灯しないように構成され、

所定の記憶手段に点灯を示す情報が記憶されている場合には、有利区間ランプを点灯するように構成され、

有利区間であるときには、有利区間であることを示す試験信号を出力するための処理を実行するように構成され、

所定の記憶手段に消灯を示す情報が記憶されている場合であっても、有利区間であることを示す試験信号を出力するための処理を実行し得るように構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

本発明が解決しようとする課題は、有利区間であることを示す試験信号の出力処理、及び有利区間ランプの点灯処理を適切に実行することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

本発明は、

ストップスイッチ（４２）の有利な操作態様を報知しない通常区間と、

ストップスイッチの有利な操作態様を報知し得る有利区間と

を有し、

有利区間であるときに点灯し得る有利区間ランプ（有利区間表示ＬＥＤ７７）と、

所定の記憶手段（ＲＷＭ５３）と

を備え、

所定の記憶手段に消灯を示す情報が記憶されている（ＲＷＭ５３に記憶されている有利区間表示ＬＥＤフラグが「０」である）場合には、有利区間ランプを点灯しないように構成され、

所定の記憶手段に点灯を示す情報が記憶されている（ＲＷＭ５３に記憶されている有利区間表示ＬＥＤフラグが「１」である）場合には、有利区間ランプを点灯するように構成され、

有利区間であるときには、有利区間であることを示す試験信号（７ビット目（有利区間中信号が「１」である試験信号））を出力するための処理（図３０３のステップＳ２９９６、及び図３０４のステップＳ３００２の処理）を実行するように構成され、

所定の記憶手段に消灯を示す情報が記憶されている場合であっても、有利区間であることを示す試験信号を出力するための処理を実行し得るように構成されている

ことを特徴とする。

【 手 続 補 正 ４ 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 ０ ０ ０ ６

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 ０ ０ ０ ６ 】

本発明によれば、有利区間であるときに、有利区間ランプが消灯していても、試験機に対しては、有利区間であることを正確に伝達しつつ、遊技者に対しては、有利区間であるか否かを判別できないようにすることができる。